

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	観光名所（職員）	・秋の紅葉シーズンに向け、企画募集団体旅行の予約が好調である。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・人が亡くなった後、どうしてもやらなければいけないこと、誰かがやらなければいけないことについて、皆が考えるようになっていく。どこにお金を掛けるのか、誰に頼むのか、人の不幸に付け込まないところはどこなのか、皆が知りたいがっている。
	○	百貨店（経理担当）	・能登半島地震やターミナル駅の再開発競合商業施設開業の影響から回復傾向にある。
	○	スーパー（経営者）	・暑さも終わり、運動会、球技大会、敬老会等のイベントも多くなるため、良くなる。
	○	高級レストラン（経営者）	・秋に向けて物価上昇が予想されるため、景気は緩やかに上昇していくのではないかと。
	○	スナック（経営者）	・8月は余り良くなかったが、パリオリンピックの影響でフリー客が減っていたような気がしている。パリオリンピックも終わったので、9月は良くなってもらいたいが、これからパリパラオリンピックが開催されるため、よく分からない。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・当県の世界文化遺産登録による旅行客やインバウンドの増加は期待できる。夏場は元々にぎわいを見せる場所でもあるため、秋以降の世界遺産目的での来訪客の増加が多少は出てくるとみており、プラスへの期待感は大い。
	○	遊園地（職員）	・パブリシティの獲得や新規イベントの開催等、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、より多くの客の来園を期待している。
	○	ゴルフ場（副支配人）	・予約状況からみて、真夏にゴルフを控えていたプレーヤーが多少戻ってきているようである。
	□	商店街（代表者）	・秋の行楽シーズンに入るが、宿泊料金の値上げが顕著で、物販購入に回るお金が増えないのではないかと。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・全てとってよいほど物の値上がりが見られる。1度価格が上がった物が下がることはまずない。このようななかで、消費意欲を高め売上増加につなげていくことは難しい。
	□	百貨店（営業担当）	・現在、為替相場が若干円高に振れており、ガソリン等も若干安くなっている。ただし、いまだ値上げの商材もあるため、消費、特に日用品については慎重になるとみている。
	□	百貨店（店長）	・売上の厳しい状態が続いている。何か新しい要因があればよいが、物価高が大きく影響しており、変わる兆候が見られない。現状、大きく改善する要素は全くない。
	□	スーパー（経営者）	・円安の是正は物価安定にはプラスではあるものの、タイムラグがあるため、変わらない。
	□	スーパー（店長）	・客の買い回り状況からみて、依然として価格や内容量を意識しているため、値下がりがないと景気の回復は難しい。
	□	スーパー（副店長）	・8月は一般客と旅行客が増え、多少ではあるものの景気の上向き傾向がみられたが、米不足や台風の被害等、明るい話題は少なく、景気が良くなるとは考えられない。
	□	コンビニ（経営者）	・夏休みが終了し、観光客は減少する。
	□	コンビニ（エリア担当）	・高温が続いているお陰で売上は横ばいである。ただし、燃料費、人件費等の経費が上がっている。
	□	コンビニ（店長）	・節約意識はかなり落ち着いてきている。天候等の状況で、客が出てくるタイミングが特別変わることはないかとみており、余り変化はないのではないかと。
	□	家電量販店（店長）	・これから端境期に入ってくるため、大きな伸長は望めない。
□	乗用車販売店（経営者）	・引き続き、新車受注は前年比プラスで堅調に推移するとみているが、新型車イベントがないため、大きな伸びは期待できない。	
□	自動車備品販売店（従業員）	・大手自動車メーカーの認証不正問題もあり、新車が回復していかないと、厳しい状況が続く。	
□	一般レストラン（経営者）	・今後については台風接近の影響を考慮しても、急激な落ち込みはなく、横ばいではないかと。	

□	スナック（経営者）	・いずれにしても月日のたつのは早い。変わらないとみているが、とにかくこれ以上悪くならないでほしいという意味での回答である。
□	スナック（経営者）	・企業が始業前のアルコールチェックを行うようになってから、客の帰る時間が非常に早くなっている。2回転目の遅い時間帯の来客が極端に少なくなっており、アルコールチェックが当たり前だと考え、やらなければいけない状況になるほど企業に浸透していくと、我々の商売にとってはかなり大変になるので、今後も期待できない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・8月ほどの売上とまではいかないが、ここにきて、県内で登録された世界遺産を訪れる個人客が、前泊で市内に宿泊する等、動きが出てきている。9月もイベントが開催される時は、高単価な客室料金でも利用する客が増えている。
□	タクシー運転手	・運転手が不足している。昼間はまあまあだが、夜働いてくれる運転手が足りない。毎日2時、3時までいてくれる運転手は2～3人しかいないが、これがあと2～3人いると、売上も上がる。
□	通信会社（社員）	・テレビCMやSNS等を通じて当社の露出を増やし反響につなげていく段階なので、爆発的な売上増加につながる見込みは余りない。
□	通信会社（社員）	・消費が増えるような雰囲気はなく、停滞感是不変わらない。
□	ゴルフ場（経営者）	・政権政党の総裁選挙や米国の大統領選挙の結果次第だとみている。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・連日の猛暑の影響もあり、屋外よりも屋内レジャーが比較的良好。これから過ごしやすい時期になると、屋外レジャーが盛んになっていくので、少し苦戦するかもしれない。
▲	商店街（代表者）	・人出がないのは、天候要因だけではない。
▲	商店街（代表者）	・当商店街では、昔は休みとなれば、押すな押すなというくらいに人が出たが、今は歩行者天国にしても半分程度である。客は、既存の店に入って何か買うということは余りなく、売店で売られている食べ物や飲み物等をかなり買っている。当地から大型スーパーが撤退してから、本当に不便だが、商店街に客が来なくなってしまっている。このままだと段々と悪くなっていくので、いろいろ考えなければいけない。
▲	コンビニ（経営者）	・段々と寒くなるにつれて来客数はどうしても落ちるため、売上の的には厳しい。10月は恐らく若干上向くが、9月はまだなかなか天候が安定しないとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・今年のお盆休みは前年と比べて今一つであったが、おにぎりなどの消費期限が延びたため、廃棄等の被害は少なく済んでいる。当店の売上は前年より少し下がった程度だが、当地区の平均の売上は、ひどく落ち込んだと聞いている。この先も同様に少しずつ売上は下がっていくとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・繁忙期が終わり、売上は下がるとみている。3か月後、補助金がなくなったら、世の中がどうなるか分からない。人件費も上がり、経費にも響くので経営する側としたら不安である。
▲	その他専門店〔酒〕（店長）	・当店も米を扱っているため、米の価格上昇には非常に苦慮している。価格は更に高くなる可能性を帯びており、米は日本酒でも加工米として使うので、売れる物、売れない物がはっきりと出てくるのではないかと懸念している。この価格上昇が転嫁されて販売が順調に伸びるかどうかは非常に不透明で、現時点では色分けが始まっているようにみえる。
▲	一般レストラン（経営者）	・物価、特に米や農産物については、台風等の自然災害による影響が怖い。
▲	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルス感染症発生前の秋は行楽シーズンで、会社関係等で貸切バスなどによる団体旅行が全体の2～3割あり、売上を下支えしていた。しかし、コロナ禍以降は団体旅行が激減したため、秋の需要は減少傾向にある。個人旅行になると1室2名が基本となり、団体のような1室4名利用と詰めて入らないため、定員稼働率が低下し、結果としてどれだけ個人の客を取っても売上の的には減少してしまう。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・当県では8月がピークシーズンなので、ここからは来客数が減っていく。

	▲	旅行代理店（副支店長）	・受注や相談は多いものの、旅行参加者の減少や小規模化がみられる。コロナ禍明けの旅行需要は一旦収まったとみている。物価上昇に伴う旅行代金の上昇もあり、少し足踏み状態にあると捉える。景気は少し下降する。	
	▲	住宅販売会社（経営者）	・これまで、株価の上昇等による余剰資金で別荘を購入する動きがみられたものの、株価暴落の懸念もあり、先行きは不透明である。	
	×	コンビニ（経営者）	・人手不足や少子化問題に、政治への不満もあり、良くなる要素がない。	
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	—	—	
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需要が回復し、やや良くなる。	
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・年末に向けた需要で売上増加が見込まれる。また、為替相場の円安是正による仕入価格の低下も期待される。	
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・見積案件数が増えており、活気がみられる。一方、条件付きの案件が増えていることが今後の懸念である。	
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・特注品の受注見込みはあるものの、年末から年始にかけての店頭販売品の受注は予想が付かない。夏休み期間のワークショップの予約が予想外に低迷しており、展開方法の練り直しが必要である。	
	□	電気機械器具製造業（従業員）	・前年に続き、今年も全ての部品の値上がりが続いている。当社の販売価格への転嫁が追い付かないため、やや苦しい。	
	□	建設業（経営者）	・物価は落ち着いており、技術者不足はあるものの、現状の景気はまだ続くとみている。	
	□	金融業（調査担当）	・製造業は、IT関連の在庫調整は解消に向かうものの、引き続き緩やかな動きにとどまる見込みである。非製造業は消費に対する節約志向が続くことから弱さが残り、足踏み状況が続く見通しである。	
	□	金融業（経営企画担当）	・日本銀行による金融政策や米国FRBによる利下げ等で、経済及び金融市場での不透明感が拭えない。	
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症発生前の50%ほどに回復している。現在の社員数は半分になっている。物価高や法人の経費増から、折込チラシ出稿、新聞販売共に前年比微減が予想される。	
	▲	食料品製造業（営業統括）	・酒飯店やスーパーからの引き合いが落ちて出荷状況が停滞していた。そのため、仕込み用タンクに空きの余裕がなく、秋の原料購入に際して影響が出るおそれがある。	
	▲	食料品製造業（総務担当）	・原材料価格を中心にコストアップが見込まれる。	
	×	食料品製造業（製造担当）	・最低賃金上昇分で年間70万円以上、原材料費80万円以上となると、商材単価を今の倍にしていけないと、吸収できない。ただし、本当に価格を2倍にすれば、スーパーでは間違いなく売れなくなる。このはざ間で新しい売り方を考えないといけない。	
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。	
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・金価格が下がってきており、円高傾向にある。小売店では今買っても、金価格が今後下がると商品価値が落ちるため、もう少し様子をみたいという声もある。商品が売れていないため、在庫を増やすことに関してはシビアである。	
	雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—
		○	—	—
□		人材派遣会社（営業担当）	・米不足の問題等がある。	
□		職業安定所（職員）	・人手不足による業務の縮小やエネルギー価格、諸物価上昇の影響が引き続き懸念される。賃上げ効果や所得税定額減税による消費拡大の状況も不透明である。	
□		職業安定所（職員）	・雇用数の大きな増減につながるような情報はないため、変わらない。	
□		民間職業紹介機関（経営者）	・若干の円高傾向にあるものの、継続的な円高が求められている。物価の安定が必要ではないか。	
▲		職業安定所（職員）	・有効求人数の前年同月比は、4か月連続で減少している。	
×	—	—		